

## 大会運営規定

1. 各チームとも試合開始 30 分前までに集合すること。
2. ベンチは組合せの若番を一塁側とする。
3. 試合中ベンチへ入ることのできる人員を次の通り制限する。  
責任者、監督、コーチ、登録選手、マネージャー、スコアラーの計 31 名以内とする。
4. 試合前のシートノックは 5 分以内とし、ノッカーは必ずユニフォームを着用すること。なお、大会運営上シートノックを行わないで試合をすることがある。
5. 試合前の球場内でのフリーバッティングは認めない。  
トスバッティングなどは相手チームの練習に支障のない範囲で内野のファウルグラウンドで行うこと。但し、天然芝上では行わないこと。
6. バットリング、マスコットバットは使用しない。
7. 試合回数は全試合トーナメント方式 7 回戦とし、5 回以降、得点差、降雨、日没の  
コールドゲームを適用する。
8. 規定のイニングを終了し同点の場合は特別継続試合とし、タイブレークとする。  
{\*タイブレーク}  
継続打順の無死一、二塁とする。したがって、前回の最終打者を一塁走者とし、二  
塁走者は順次前の打者とする。
9. 同一日における投手の投球制限に関する事項を以下のとおり定める。  
(1)同一日に投手が投球できる投球数を 100 球以内とする。  
(2)但し、投球中に 100 球に達した場合は、その打者の完了までとする。

- (3)同一日に 2 試合を行う場合、第一試合の勝者は第一試合に登板した投手の投球数を  
大会本部にて確認しておくこと。
10. 指名打者制を採用する。(公認野球規則 5. 11)
11. 大会使用球は、全日本軟式野球連盟公認球 M 号とする。
12. メンバー表は 6 部提出し、前の試合の 4 回終了後、大会本部にて交換する。
13. 打者、次打者、走者及びベースコーチは両耳つきヘルメットを、又捕手は捕手用ヘルメット・プロテクター・レガース、ファウルカップを必ず着用すること。
14. 上記及び金属バット、捕手用マスクは公認マーク入りスロットガード付きのものを  
使用すること。
15. 出場選手及び監督、コーチはユニフォーム(背番号 0 番から 99 番までとし、監督  
30 番、コーチ 29 番、28 番、主将 10 番とする。)を着用すること。
16. 試合は、無駄な時間を省きスピーディーに行うこと。
17. 試合に勝ち残ったチームは、大会本部で次の日程を確認しておくこと。
18. 本規定に定めていない事項、明確でない事項は、公益財団法人全日本軟式野球連盟  
の定める規定・規則による。